



晩秋号
編集発行：由卯
<http://www1.to/yosinasi>

秋の夜長に

編集人 由卯

先 日から、北の地方は大
雪に見舞われ、気温の
上がらない日々が続いている。
九州地方も…といたいところ
だが、毎週末雨模様で、いささ
かうんざりしている。今日など
は湿気のせいで、不快指数二〇
〇%以上だ。いまだに職場では
扇風機が手放せない。紅葉は今
どころ辺まで南下しているのだ
ろうか。

先月のある秋の宵、パイプオ
ルガンのお披露目ミニコンサ
ートがカトリック教会で開催され
た。いつもならば、単調な讚美
歌が流れるオルガンから、バッ
ハの迫力ある「トッカーとフー
ガ」が悠々と流れ始めた。ゴ
シック建築の石造りの天井にオ
ルガンの音が響き渡る。小さい



▶ポタンやペダルで音が変わる。楽
曲によって、音色も選択できるら
しい。(都城カトリック教会御堂内)

とはいえ、音はかなりの迫力
だ。久しぶりに聞くバロック音
楽は、心を高揚させる。静かに
滔々と、夜の帳が下りていった。
私が幼い頃に、足踏みのオル
ガンがあり、それには陶器で
作ったポタンが幾つか並んでい
た。今聞けば、拍子抜けしそ
うな音だろうが(多分、アコー
デオンのような)、何故かそ
の音が聞きたくなった。

時代とともに楽器も音楽も進
歩していく。しかし一方、昔な
がらの古い楽器も楽曲もいまだ
存在して、人々の心を今も昔も
癒し続けている。



◀パイプオルガンの練習に余念がない長男。

あちらの席の方からです

こしみ

カ ウンターで友人と飲ん
でいたら、「あちらの席
の方からです」と、店員がスツ
と唐揚げ盛りを差し出した。
え。普通こういう場合は女子が
好きなピンクのカクテルではな
いのか?と思ったが、唐揚げは
大好きなので、お礼を言って美
味しく頂いた。それがきっかけ
で、後日総勢12名の合コンが開

かれ、一組のカップルが誕生し、
やがて結婚した。いわゆる唐揚
げ婚である。

「あちらの席の方からです」
という行動は、最近の若い男
子はしないらしい。たしかに、
ちよつと古くさいアピール方法
だけれども、案外女子は、そん
なドラマのような出会いを密か
に待っている。

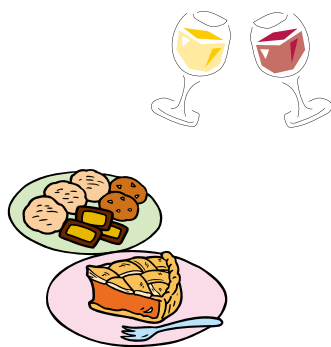
会社の若い女子曰く、「そん
なことされたことないですー。
ていうか、ショットバーって、
飲み放題だからソレでできなくな
いですかー?」

ちよつと待て。ショットバー
で飲み放題って何。グラス一杯
ずつ出すからショットバーなん
じゃなくて?あら、時代変
わったのかなと思議に思った
が、その辺は突っ込んで聞か
ず、イマドキの女子に話を合わ
せておいた。

年に一回くらいは一人でバー
に行くこともあるが、なかなか
以前のように楽しめなくなっ
てきた。喫茶店でビールを飲み
ながら読書をしている方がずつ
と落ち着く。
「あちらの席の方からです」

と言われることはもう二度とな
いのかな…。喫茶店でビールを
差し出されたらどんなに嬉しい
ことか。できればポテトも欲し
いところ。でも良く考えたら、
知らない人に自分の飲みものを
勝手に頼まれるのってかなり強
引。昔はそういう強引な男子が
たしかにモテた。今はそうい
う男子っていないヨナー、と
思ったが、私に強引になって
くれる人がいないだけなので
は。。。と、その気付きの遅さに
ゾツとした。

実は今の時代もカウンターで
飲みものを差し出されて出会っ
ている男女がたくさんいるので
は。。。ちよつと変化してスィー
ツとかだされてるんじゃない。
私も食べたい。今の季節なら、
モンブラン! 出合いの目的が、
完全に食べ物になっている。



My favorite お気に入り 見つけた!

File 23.

*Cafe 212

[Chocolat classic]



先日週末、ふとカレーとシヨコラ・クラ

シックが食べたくて、急いで車を走らせた。ラストオーダーギリギリで、多分閉店前だったにも関わらず、快く店内に案内された。



▼手書き風の menu

静かな土曜の午後、秋の風を感じながら、テラス席で遅めのブランチを頂く。白いテーブルクロスに輝く銀のカトラリーが鈍く光っていた。手書き風のメニューのコメントを見ていると、メニュー選びも楽しい。今日は、

カレーと決めていたので、野菜カレーを注文してみた。口の中



▲インド西部の効いたカレー。焙った野菜が美味!

よげな・シヨコラ・クラシック



当初から人気の「シヨコラ・クラシック」は、甘みの中のビター感が何とも言えない。慌てて頂いたの、今度行く時は、ゆっくり味わいながら楽しみたい。

* cafe 212 *

都城市蔵原町6-3

☎0993②3780

open 11:30 ~ 17:30 (土は14時まで) 休日・祝

http://www.galerie212.com/cafe.html

File 24.

*WONDERFUL WORLD 珈琲

[Specialty coffee]



Specialty coffee

という言葉を初めて耳にした。

紅茶も日本茶もそうだが、それ

ぞれ産地によって味が違う。珈琲も然り。今回、エル・ナラン

ホ・デイビルト農園のCOE (cup of excellence) 豆を初めて購入。以前は酸味が苦手、特にマウンテンのつく豆は好きではなかったのだが、この豆の酸味は

とても心地良く、余韻が楽しめるものだった。まさに目から鱗とはこのことだ。作り手の気持ち

ちがこもっているものは美味しい。とまあ、ほとんど何も分らない私だが、初めて訪れて、和んでしまったのは言うまでも

ない。Specialty coffee・ドリンクの販売(豆購入者にはサービス)のほか、work shopも開催している。今度はどうな味の珈琲を選ぼうか、楽しみである。

13種類の珈琲豆



▲13種類の珈琲豆

WONDERFUL WORLD 珈琲

都城市甲斐元町3-11

☎0986②1141

open 11:30 ~ 20時

休日木 http://www.facebook.com/wonderfulworldcoffee

読書の秋

秋

も深まり「読書の秋」ではあるけれど、最近、雑誌を買い込み過ぎて書店化している我が家である。しかし読

書とはいえ、読んでも頭の中に残っていることが少なく、毎回ページをめくるたびに、「こんな記事あったかな?」と少し寂しくなったりもする。

秋の訪れが早かったわりには、深まるどころか最近はまだ扇風機が手放せない。おまけに秋雨前線の影響で、週末になると雨模様が続く、すっきりとした秋晴れにもなかなかお目にか

かれない。紅葉をめでながら、少し冷たくなってきた空気の中、好きな本と温かな飲み物があるだけで幸せな気持ちになる。そんな時間まではあともう少しかきそうかな今日この頃である。

十一月の下旬より、イベントの参加や年末年始の仕事の増加などで、公私ともに忙しくなる。そして来年早々、娘の成人式があったり、気分的に落ち着かない年始になりそう。先日も、年金の手続きをやっと済ませ、娘もようやく成人の仲間入りをした。とはいえ、まだまだ学校に通っている分、そんな気持ちではさらさらでないであろう。

かという自分もそうであったように、大人と子供の境目なんて考えこともなかったし、感じたこともなかった。私の場合、結婚して親になったことで、少しずつではあるが人として一人前に近づきつつあるのかもしれないが、それは人それぞれ。気持ちの持ち様であろう。親になっても、中身は成長していない自分がいるのは重々承知している。かえって、そんな私を冷やかに大人の視点で見ているのは子供達だったりするのかもしれない。

おしまい

十一月の下旬より、イベントの参加や年末年始の仕事の増加などで、公私ともに忙しくなる。そして来年早々、娘の成人式があったり、気分的に落ち着かない年始になりそう。先日も、年金の手続きをやっと済ませ、娘もようやく成人の仲間入りをした。とはいえ、まだまだ学校に通っている分、そんな気持ちではさらさらでないであろう。

かという自分もそうであったように、大人と子供の境目なんて考えこともなかったし、感じたこともなかった。私の場合、結婚して親になったことで、少しずつではあるが人として一人前に近づきつつあるのかもしれないが、それは人それぞれ。気持ちの持ち様であろう。親になっても、中身は成長していない自分がいるのは重々承知している。かえって、そんな私を冷やかに大人の視点で見ているのは子供達だったりするのかもしれない。

かという自分もそうであったように、大人と子供の境目なんて考えこともなかったし、感じたこともなかった。私の場合、結婚して親になったことで、少しずつではあるが人として一人前に近づきつつあるのかもしれないが、それは人それぞれ。気持ちの持ち様であろう。親になっても、中身は成長していない自分がいるのは重々承知している。かえって、そんな私を冷やかに大人の視点で見ているのは子供達だったりするのかもしれない。

かという自分もそうであったように、大人と子供の境目なんて考えこともなかったし、感じたこともなかった。私の場合、結婚して親になったことで、少しずつではあるが人として一人前に近づきつつあるのかもしれないが、それは人それぞれ。気持ちの持ち様であろう。親になっても、中身は成長していない自分がいるのは重々承知している。かえって、そんな私を冷やかに大人の視点で見ているのは子供達だったりするのかもしれない。

かという自分もそうであったように、大人と子供の境目なんて考えこともなかったし、感じたこともなかった。私の場合、結婚して親になったことで、少しずつではあるが人として一人前に近づきつつあるのかもしれないが、それは人それぞれ。気持ちの持ち様であろう。親になっても、中身は成長していない自分がいるのは重々承知している。かえって、そんな私を冷やかに大人の視点で見ているのは子供達だったりするのかもしれない。

かという自分もそうであったように、大人と子供の境目なんて考えこともなかったし、感じたこともなかった。私の場合、結婚して親になったことで、少しずつではあるが人として一人前に近づきつつあるのかもしれないが、それは人それぞれ。気持ちの持ち様であろう。親になっても、中身は成長していない自分がいるのは重々承知している。かえって、そんな私を冷やかに大人の視点で見ているのは子供達だったりするのかもしれない。

かという自分もそうであったように、大人と子供の境目なんて考えこともなかったし、感じたこともなかった。私の場合、結婚して親になったことで、少しずつではあるが人として一人前に近づきつつあるのかもしれないが、それは人それぞれ。気持ちの持ち様であろう。親になっても、中身は成長していない自分がいるのは重々承知している。かえって、そんな私を冷やかに大人の視点で見ているのは子供達だったりするのかもしれない。

かという自分もそうであったように、大人と子供の境目なんて考えこともなかったし、感じたこともなかった。私の場合、結婚して親になったことで、少しずつではあるが人として一人前に近づきつつあるのかもしれないが、それは人それぞれ。気持ちの持ち様であろう。親になっても、中身は成長していない自分がいるのは重々承知している。かえって、そんな私を冷やかに大人の視点で見ているのは子供達だったりするのかもしれない。